

		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
嘔吐	CTC-AE	24時間に1-2エピソードの嘔吐(5分以上間隔が開いたものをそれぞれ1エピソードとする)	24時間に3-5エピソードの嘔吐(5分以上間隔が開いたものをそれぞれ1エピソードとする)	24時間に6エピソード以上の嘔吐(5分以上間隔が開いたものをそれぞれ1エピソードとする)TPNまたは入院を要する	胃内容が口から逆流性に排出されること
	患者対応	制吐薬が処方されている場合、または、手持ちの吐き気止めがある場合は薬剤名を確認したうえで服用を勧める	Step 1 制吐薬が処方されている場合、または、手持ちの吐き気止めがある場合は薬剤名を確認したうえで服用を勧める Step 2 吐き気止めの効果がない場合 又は、水分摂取が出来ない、食事もとれない、腹痛、頭痛など、付随症状がある	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・匂いの強い食事は避け、お粥など消化の良いもの、冷やしたもの、のどごしの良いものなどを少しずつとるように勧める ・無理をせず、食べたいもの、食べられるものを食べるように説明する ・食べられないことで不安を増大させないよう注意を払う ・抗がん剤メーカーのHPIに化学療法中の食事のとり方、メニュー例などがあるので参考にする 			
		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
悪心	CTC-AE	摂食習慣に影響のない食欲低下	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	カロリーや水分の経口摂取が不十分;経管栄養/TPN/入院を要する	ムカムカ感や嘔吐の衝動
	具体的症状		食事量の減少はあるものの、食事や水分摂取はある程度可能。	食事がとれない 水分摂取も不十分	
	患者対応		Step 1 制吐薬が処方されている場合、または、手持ちの吐き気止めがある場合は薬剤名を確認したうえで服用を勧める Step 2 吐き気止めの効果がない場合 又は、水分摂取が出来ない、食事もとれない、腹痛、頭痛など、付随症状がある	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・匂いの強い食事は避け、お粥など消化の良いもの、冷やしたもの、のどごしの良いものなどを少しずつとるように勧める ・無理をせず、食べたいもの、食べられるものを食べるように説明する ・食べられないことで不安を増大させないよう注意を払う ・抗がん剤メーカーのHPIに化学療法中の食事のとり方、メニュー例などがあるので参考にする 			

		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
食欲不振	CTC-AE	食生活の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化;経口栄養剤による補充を要する	顕著な体重減少または栄養失調を伴う(例:カロリーや水分の経口摂取が不十分);静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する	食欲の低下
	具体的症状	通常よりやや少ない程度	通常の半分程度しか食べられない	食事もとれない 水分摂取も不十分 体重減少あり(5~10%減を目安)	
	患者対応		メトクロプラミド等、手持ちの吐き気止めがある場合は薬剤名を確認したうえで服用を勧める	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 匂いの強い食事は避け、お粥など消化の良いもの、冷やしたもの、のどごしの良いものなどを少しずつとるように勧める 無理をせず、食べたいもの、食べられるものを食べるように説明する 食べられないことで不安を増大させないように注意を払う 抗がん剤メーカーのHPに化学療法中の食事のとり方、メニュー例などがあるので参考にする 			
		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
下痢	CTC-AE	ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が軽度増加	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が中等度増加	ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加;便失禁;入院を要する;ベースラインと比べて人工肛門からの排泄量が高度増加;身の周りの日常生活動作の制限	頻回で水様の排便
	具体的症状	水様便3回以下(ベースと比較)ストマから排出量が少し増えた	水様便3回以上(ベースと比較)又は立て続けな水様便 ストマから排出量が増え、排出物を交換する回数が増えた	水様便7回以上(ベースと比較)ストマから排出量が増え、排出物を交換する回数が増えた。 外出ができない。行動範囲の縮小がある等	
	患者対応		下痢のフローチャートに従ってロペラミドの服用を勧める	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 水分を十分にとり、(スポーツ飲料など)、お粥・うどんなど消化の良いものを少しずつ何回かに分けてとるよう説明する 			

		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
口内炎(口腔 粘膜炎)	CTC-AE	症状がない、または軽度の症状がある; 治療を要さない	中等度の疼痛:経口摂取に支障がな い;食事の変更を要する	高度の疼痛:経口摂取に支障がある	口腔粘膜の炎症
	具体的症状		食事の摂取は可能なものの、刺激物や 固形物、熱いもののは摂取出来ない	疼痛にて食事の摂取が不能 水分摂取も減少	
	患者対応		・ハチアズレ含嗽水、手元にはない場合 は市販の低刺激性含嗽薬での含嗽を 勧める(イソジンうがい薬は使用しない) ・口腔内の乾燥を防ぐため、保湿剤の 使用も考慮する	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の前後だけでなく定期的に含嗽し、口腔内を清潔に保つ ・柔らかい歯ブラシを使用して口腔内を傷つけたり刺激しない ・少しでも症状が出た場合は専門的な口腔ケア指導の受けられる歯科医院を受診する ・口腔内を乾燥させない(市販の保湿剤、保湿ジェルなどの使用も有効) ・刺激物や熱いものを避け、柔らかいものを摂取する 			
		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
皮疹(v.3)	CTC-AE	自覚症状を伴わない、斑状/丘疹状の 皮疹または紅斑	掻痒や随伴症状を伴う、斑状/丘疹状 の皮疹または紅斑;体表面積(BSA)の <50%を占める限局性の落屑その他 の病変	高度または全身性の紅皮症や斑状/丘 疹状/小水疱の皮疹;BSAの≥50%を 占める落屑	
	患者対応		・皮膚科受診 ・ヘルペスなどとの鑑別診断が重要	速やかに病院に連絡	
	一般的アドバイ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・保湿剤の使用(朝、夕、入浴後15分以内) ・外出時の日焼け防止対策(帽子、日焼け止めクリームSPF20程度のを頻繁に塗りなおすなど) ・手洗いの都度、保湿剤を使用する(ヒルドイドソフトがない場合は市販の保湿剤でアルコールフリー、無香料のものを使用する) 			

		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
HFS	CTC-AE	疼痛を伴わないわずかな皮膚の変化または皮膚炎(例:紅斑、浮腫、角質増殖症)	疼痛を伴う皮膚の変化(例:角層剥離、水疱、出欠、浮腫、角質増殖症);身の回り以外の日常生活動作の制限	疼痛を伴う高度の皮膚変化(例:角層剥離、水疱、出血、浮腫、角質増殖症);身の回りの日常生活動作の制限	手掌や足底の、発赤、著しい不快感、腫脹、うずき
	具体的症状	疼痛はなく、軽微なヒリヒリ感や違和感がある。 手の平、足の裏が赤くなる。 局所的に肥厚した部分がある。	疼痛を伴う、紅斑や局所的な肥厚、水疱などがある。 歩行に多少の支障あり。 家事がしづらい、物を持てにくいなど、日常に影響がある。	疼痛を伴う、紅斑や局所的な肥厚、水疱などが広範囲で認める。 歩行に障害あり。 ボタンが出来ない、お箸がもてない、入浴できないなど、日常の身近なことに支障がある。	
	患者対応	ステロイドが処方されている場合は、用法を説明し、開始する。	当日分は休薬して病院に連絡 服薬継続可否について病院薬剤師が主治医に確認 保湿剤、ステロイドの使用状況を確認	当日分は休薬して病院に連絡	
	一般的アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 保湿剤の使用(朝、夕、入浴後15分以内) 外出時の日焼け防止対策(帽子、日焼け止めクリームSPF20程度のものを頻繁に塗りなおすなど) 運動や手作業により指先や足裏に圧をかけないように注意を促す 靴や靴下は足を締め付けない柔らかいものにし、靴擦れや靴下のゴム跡が出ないようにする 手洗いの都度、保湿剤を使用する(市販の保湿剤を使用する場合は、アルコールフリー、無香料のものを選ぶ) 毎日足裏も変化がないか確認する 			

		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
疲労	CTC-AE	休息により軽快する疲労	休息により軽快しない疲労;身の回り以外の日常生活動作の制限	休息により軽快しない疲労;身の回りの日常生活動作の制限	日常生活の遂行に十分なエネルギーが明らかに不足し、全身的に弱くなった状態
	具体的症状	何をするにも気力がない。 安静にすれば回復 日常生活には支障が出ていない	家で寝ていることが増えた 仕事に支障あり 家事など、日常に行っていることに支障あり、買い物なども行けなくなっている	食事、お風呂、着替えなどが出来なくなっている	
	患者対応			病院に連絡	
	一般的アドバイス	・無理をせずに安静にする ・食事は食べられそうなものがあつたら好きな時に少しずつ食べる			
		グレード1	グレード2	グレード3	用語の定義(注釈)
流涙	CTC-AE	治療を要さない	治療を要する	外科的治療を要する	過度の流涙。涙液の過剰産生または涙管の排液障害による
	具体的症状	眼の違和感	流涙、眼脂、羞明、視力低下など	重度の流涙、眼脂、羞明、視力低下などで日常生活に支障がある	
	患者対応	経過観察 気になるならソフトサンティアを勧める	ソフトサンティアでの頻繁な点眼を勧める 眼科受診を勧める	病院に連絡 眼科受診を勧める	
	一般的アドバイス	・少しでも症状が出たら(予防としても)ソフトサンティア(市販薬)又は生食での頻繁な点眼を勧める ・流涙、目脂、羞明、視力低下などに気づいたら早めの眼科受診を勧める			

37.5°C以上の発熱	<ul style="list-style-type: none"> ・37.5°C以上の発熱時等は病院へ連絡する ・発熱以外に、下記の症状がある。 <ul style="list-style-type: none"> ①めまいふらつきがある ②息苦しさがある ③嘔吐、下痢が続いている ④強い倦怠感 ⑤インフルエンザ・ノロウイルスなどに感染している人が周囲にいる 		
	発熱のみ		レボフロキサシン錠の服用を指示する。 解熱しても、レボフロキサシン錠は最後まで飲みきる 3日以内に解熱しない場合は病院へ連絡
	一般的アドバ イス	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナールを所持している場合は、レボフロキサシンよりも先行して服用する事を避ける。 ・コロナールは6時間おきに追加内服可。解熱後は中止。 ・レボフロキサシンは発熱した時点で服用し、次の日からは朝食後等に統一して服用してもらう。 ・酸化マグネシウムを服用している人は、レボフロキサシン服用後、2時間程度時間を空けてから服用する。 	
間質性肺炎	<ul style="list-style-type: none"> ・息苦しさ、息切れ ・空咳 ・発熱 		